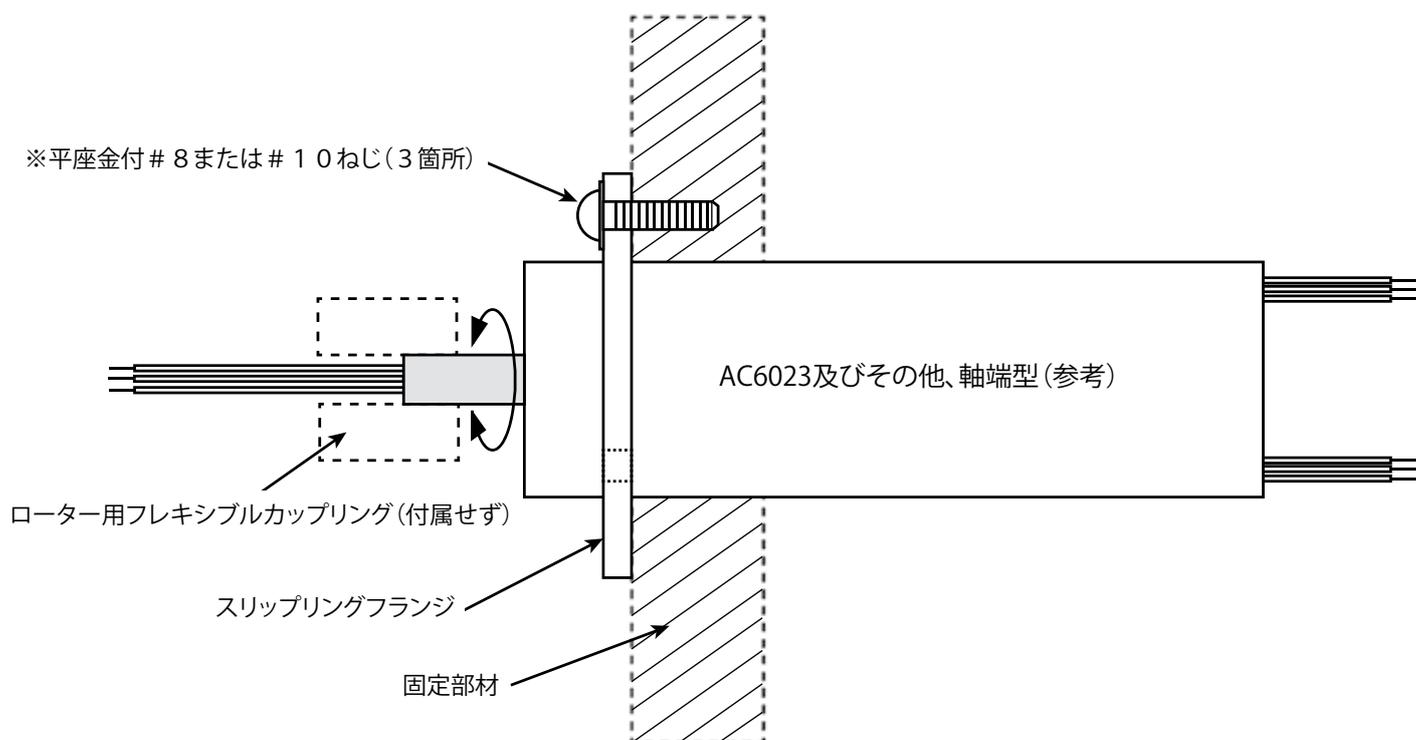


AC6023及びその他、軸端型(参考) 使用方法および取付要領

1. スリップリングカプセルは、フランジ取付け式で、バレルを片持ちで支えるようになっています(下図参照)
2. ローターの駆動は、フレキシブルカップリング等(らせん型またはベローズ型ゴム管)を介して行い、取付け時の芯ずれが吸収されるようにしてください。ただし、最大使用回転数が5 rpm以下である場合、ローターのリード線をたわみ軸継手の代わりに使用することも可能です。
3. 下図に示すとおり、#8または#10の平座金付きねじを使って、スリップリングを取り付けます。これらの座金により、フランジの過度の歪みを防ぎます。平座金をロック座金と併用する場合、平座金をロック座金とフランジとの間に入れて取り付けてください。(注記:取付け用ねじ類は付属していません。)
4. スリップリングは、設計上、それに接続した機器の重量を支えることができません。回転機器を固定し、軸方向または半径方向の荷重がスリップリングローターにかかることがないようにしてください。
5. スリップリングは、水、ほこりやスリップリングの寿命が短くなる可能性のある他の有害な汚染物質から保護されなければなりません。屋外設置の場合、スリップリングは耐候性の箱の中に収納してください。防塵、防湿対策の防沫シールオプションもご用意しております。
6. リード線をすべて固定し、回転中の機器の表面と擦れ合うことがないようにしてください。リード線の配線および固定を慎重に行い、スリップリングに横方向荷重がかかることがないようにしてください。
7. リード線の被覆をはがすときに素線を傷つけないようにするため、加熱式または機械式ストリッパー(K. Miller Tool型番#100)を使用してください。



AC6023 使用方法および使用上の注意

AC6023シリーズスリップリングを安全で最適にご使用して頂く為に、注意事項のご確認をお願い致します。

1. 感電のリスクを避けるために、スリップリングを取り付ける前にシステムの電源をオフして下さい。
2. 2つの回路間の動作電圧が240 VACを超えないようにして下さい。240 VACを超えるサージやスパイク等の電圧は、スリップリングを損傷し、安全上のリスクが発生します。
3. 2Aを超える電流を1極に流さないで下さい。
4. 複数の回路にてご使用される場合の総電流値は、図1を参照し下記A, B, Cの手順に従ってご確認下さい。

- A) ご使用になるスリップリングの極数(6、12、18または24)から、適切な曲線を選択します(図1)。
- B) Aで選択しました曲線とスリップリングの最大周囲温度(X軸)から、最大許容電流値(Y軸)を読み取ります。
- C) 使用しない極がある場合、総電力(下記 式【1】)を超えなければBで読み取りました電流値以上(2A上限)を使用することが可能です。

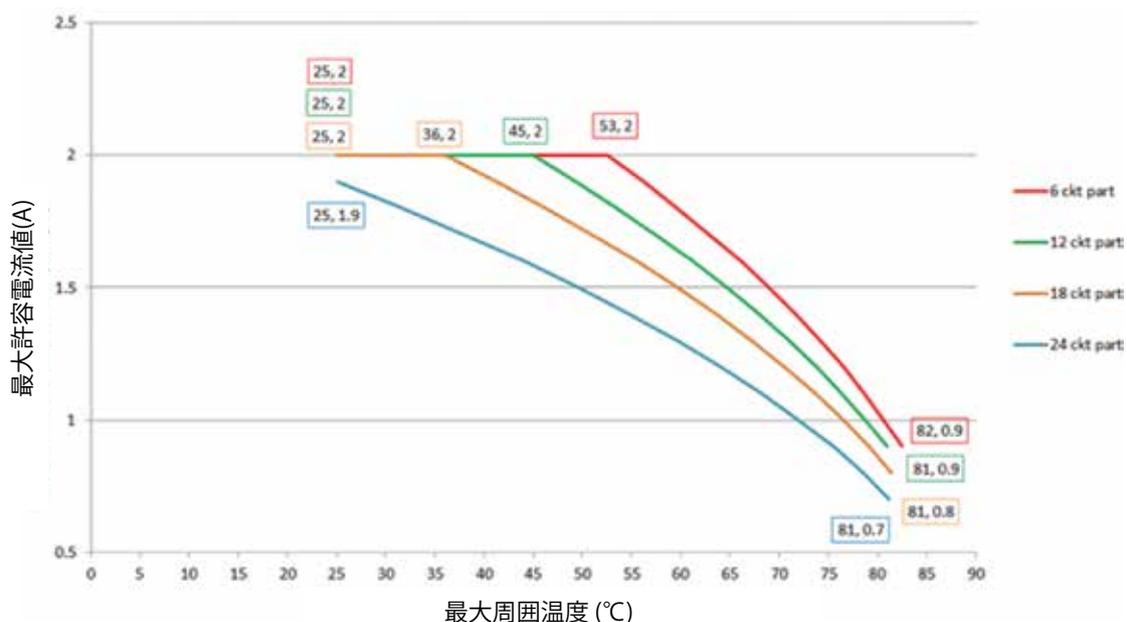


図1: AC6023の最大許容電流

式【1】 : 総電力 = 各極の電流値(A) 2乗 x R (抵抗値)の合計
例:

- AC6023-24、50°Cの周囲温度の場合、図1より各極の最大電流は1.5Aです。
- その場合の総電力は、 $24 \times 1.5^2 \times R$ で、 $54R$ となります。
- 総電力を超えなければ2Aを上限に電流値を極ごとに調整が可能です。
- 1例として10極で2A、14極で1Aの場合、 $(10 \times 2.0^2 \times R) + (14 \times 1.0^2 \times R) = 54R$ 。
- 1極あたりの最大電流値は2Aです。それを超してのご使用は出来ません。